



経営相談が 32,000 件以上に増えているが、相談内容の上位 3 つは何か？ ゼロゼロ融資の返済等についても相談は増えているか？

※ゼロゼロ融資とは、コロナ禍で売り上げが減った企業に実質無利子・無担保で融資する仕組みのこと。



一番多い相談内容は、「売上拡大について」で7割。次いで「経営改善」や「事業再生」。3番目に「事業承継」となっている。「資金繰りの相談」は上位ではないが、令和3年度 876 件から令和4年度 1,112 件と増加している。

## 社会インフラの再整備も計画的に！

「埼玉県下水道公社」は、荒川水循環センターを含む5つの水循環センターの維持管理を行っています。



管渠（下水道管）は 65 年使える見込みでマネジメント計画を立てているとのことだが、水循環センター自体の改修も計画に入っているのか？ また、改修費用は税金か利用者負担か？



センターも既に供用開始から50年程度経過しているものもあり、順次改修を見込んでいる。改修費については、約半分が国庫負担、4分の1は流域市町負担、4分の1は県となっている。県は企業債で対応するが、そのうちの3割は流域市町負担、7割は県の一般会計が負担することとなっている。

## 会派視察報告

### 埼玉県平和資料館（6月22日）**入場無料**

東松山市にある平和資料館は、今年開館 30 周年。戦時下の埼玉県にスポットライトを当て、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えています。戦争体験者の証言ビデオ上映会や実際に語る会のイベントの他、防空壕の再現や、県民から寄贈された数多くの収蔵品が展示されています。また学校への出張講義も行っています。

視察を踏まえ、総務県民生活委員会で質問を /

より多くの子どもたちに訪れてもらいたい！



大変意義深い施設であると感じたが、県民への認知度は低いのではないかと。小学校の国語や社会で平和教育を行った学年だけでも、長期休暇前に一人一枚チラシを配布するなどし、県内広域から集客をはかられたらいいか？



▲再現された防空壕



近隣の小学校にはそうしている。費用がかからないSNSの活用を含めた発信等で広報を工夫していきたい。

### 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター（6月13日）

埼玉県では上尾運動公園の再整備に際し、スポーツ科学拠点施設を令和9年度新たに創設する予定です。先行事例の研究として、新潟県の施設を視察しました。

この施設は新潟県民の健康増進とスポーツ振興を目的とし、それを医学面から支える点特徴的。県民誰もが使えるフィットネスジム、内科整形外科を中心とした外来、アスリートのためのトレーニング設備が整っています。

今定例会でも、総務県民生活委員会でスポーツ科学拠点施設の進捗状況について報告がありました。県では初となる Park-PFI\*事業です。多くの県民が気軽に使え、健康に寄与する施設となるよう視察での学びを活かしていきます。



※ Park-PFI とは、公園施設内のカフェや売店などに民間事業者を活用し、その収益を公園一体の整備に含める手法。

